

ユニフォーム着てみました。皆さん一緒にやりましょう。



齋藤 恵子 さん(小山沢地区)

ボランティア

白鷹の未来を彩る

… 尊敬の念を持って接します …

白鷹傾聴ボランティア「ひまわり」の齋藤恵子さんに、ご自宅でお話を伺いました。

活動はいつから

平成23年に講座を受講し、翌24年から活動を始めました。受講者は30人程でしたが、現在は1期生8人、2期生8人です。

どんな活動ですか

白光園や一人暮らしのお宅に伺って、お話を聴きます。

月1回から2回、30分から40分、相手の話をじっくりと聴きます。メンバーも訪問先の方も女性が多いです。

気を付けていることは

全てを肯定することです。結論や助言をしないようにお話を聴きし、尊敬の念を持って接することです。

初心を忘れないよう、ひと月置きに勉強会をしています。

続けられる理由は

夫の理解と協力に支えられて続けられています。大変に感謝しています。

最初は続けられる

が不安でしたが、無理をせず自分の時間や体調に合わせ、負担に感じないよう活動することを心がけています。

また、お一人一人からその方の人生をお聴きするようで大変多くのことを学べます。

ちょっと一言は

社会福祉協議会が主催する講座を受講して、ぜひ一緒に活動してみませんか。

嬉しいことは

2期生が活躍し、将来に続いていくことが嬉しいです。3期、4期と続いてもらいたいものです。

議会へ望むこと

議員が地域のサロンに来て町の施策などを話してもらえば、議会が身近になるのではないのでしょうか。

取材を終えて

「話を聴くこと」と「話せる場所」の大切さを改めて感じさせられました。

(笹原)



編集後記



例年にならない暖冬少雪の冬も終わりを告げ、3月議会において「人づくり」「地域力」「定住化」を柱に据えた、令和2年度の予算が議決されました。まちづくり複合施設もグランドオープンし、本来なら心躍る春の到来時期にもかかわらず、新型コロナウイルスの影響で我々が経験したこのことのない生活状況になっています。

そんな中、今心がけるべきことは、誤情報やデマに振り回されず「正しく恐れる」ことなのかもしれません。外での活動も制限せざるを得ない昨今、一日も早い終息を願って止みません。

(竹田)

広報委員

委員長 笹原 俊一
副委員長・編集長 横山 和浩
委員 丸川 雅春
委員 竹田 雅彦
委員 金田 悟
印刷・梅津印刷

お手持ちのパソコンやスマホ等で議会中継をご覧いただけます。録画でもご覧いただけます。

議会だよりのご意見・ご感想などを議会事務局までお寄せください。

